

備えあれば憂いなし!~「不安」は残さず「喜び」だけを残そう~

(株)アクティブ・マネジメント代表取締役 木村利昭氏

自己紹介

木村 利昭 (きむら としあき) 38歳

職業:保険代理店をメインに、飲食店やゲストハウスを経営、美幌町議会議員

出身:網走郡美幌町 札幌大学卒業

大屋さんとはYEGで、小山先生とは私が大学生の頃からお世話になっている。

リーマンショックによる不況で就職氷河期に就職するも、パワハラにより2ヶ月半で退職。その後地元の林業会社に勤めるも、腰椎椎間板ヘルニアにより24歳で損害保険メーカーに転職。しかし、もう既に保険屋は飽和状態にあり、知り合いの少ない24歳の男には苦行だった。成績的には悪くもなく良くもなくの中、まちづくりやまちおこし活動を行いながら、損保をメインに営業活動を行っていた。メーカーを卒業し、代理店に勤めるタイミング、27歳の時に父親を亡くした。(相続を経験)30歳の時に勤めていた代理店から独立。同時に町議へ立候補して当選。(父への親孝行、兄貴分の死) 二足のわらじの中、YEGに参加し、経営者の仲間が増えた。試行錯誤している中で相続の隠れニーズ、相続対策ができてない法人が多いことを知り、そこから相続対策の必要性とマネジメントを行い、今ではそれだけで数億円の保険料売上を稼げるようになった。

ちなみに、どんなニーズかと言うと、

ここにいらっしゃるみなさまは、経営者か事業主、不動産等資産をお持ちの方が多くと思いますが……“みなさまは相続税についてしっかり考えたことありますか?”

会社の規模、個人資産がどの程度あるか、相続する人がどんな人で何人いるか、によっても変わりますが……基本的には贈与または相続いずれにしても資産価値に合わせて税金が発生します。

「ウチは大したことはない」という方でも、場合によっては数百万~数千万の相続税を残された家族が負担する可能性があります。

この相続や贈与の際の税金を効率良く、資産になる形で、しっかり対策できたら嬉しくありませんか?

私は、その相続や贈与税の対策を保険で行うといったアドバイスやマネジメントを行っています。

実際「保険」でしかできないことがたくさんあります。

お金に名前を付けて残すことも保険にしかできません。

例えば……現金で500万相続すると、全額が相続税の課税対象になるが、保険を活用すると、更に受取額を増やし、且つ500万円以内は相続税が掛からずに渡すことができます。

実際にあった最近の話。

75歳のがん治療中の社長に、保険を活用した相続対策を行いました。その半年後に社長は他界。相続した娘様は、その対策のおかげで相続税の原資ができ、とても喜んでいただけました。

無駄な掛け捨て保険ばかりたくさん入る必要はないと私も思います。しかし、効率よくしっかり考えて保険を活用することで、自分も安心、子どもたちへの安心も作ることができます。

……と、そんな形で他の保険屋とは少し異なる観点で仕事を行い、成果を出させていただいています。

保険屋としての年数や知名度は低いところからのスタートでしたが、まちづくりやまちおこし活動の地域貢献の継続と実績が、私の知らないところで私の信用となっており、仕事での人脈づくりや信用づくりに大きな良い影響を与えていました。

自分が商売をさせていただく地域、自分や自分の家族を育ててもらった地域への恩返しをしっかりとしながら、自分の会社の継続(経済の継続)と家族への恩送り(喜ばれる備え)をしっかり作っていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。



■本日のロータリーソング

いざ友よ

2025-2026年度
国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう